

2024年11月15日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- ・JA太田市は自然を大切に食と緑と水を守り、食の安全と人の命を育む農業を守ります。
- ・JA太田市は地域農業を振興し組合員の営農と生活の向上を図ります。
- ・JA太田市は地域社会と共生し、地域で信頼され頼りにされるJAを目指し、豊かな暮らしの実現と地域の発展に貢献します。
- ・JA太田市は相互扶助を共通の理念として民主的運営と健全経営に努め組合員・地域住民の視点で展開する事業活動を実践します。

当組合は、この理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

太田市農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

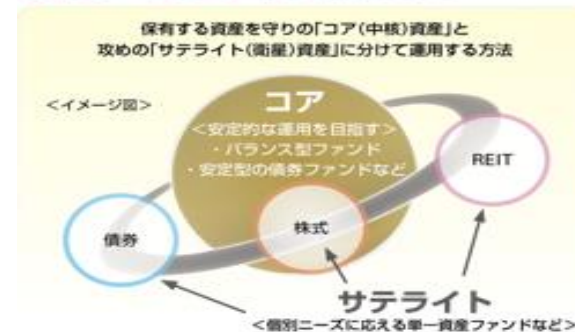
- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2023年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末:1)	6 (前年度末:3)
株式型	3 (前年度末:3)	5 (前年度末:5)
REIT型	2 (前年度末:2)	2 (前年度末:2)
バランス型	7 (前年度末:7)	

<商品選定の考え方>

② コア・サテライト戦略について



② JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、**JAバンクが独自の基準で**長期投資に適した投資信託を厳選しました。

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則6本文および(注)】

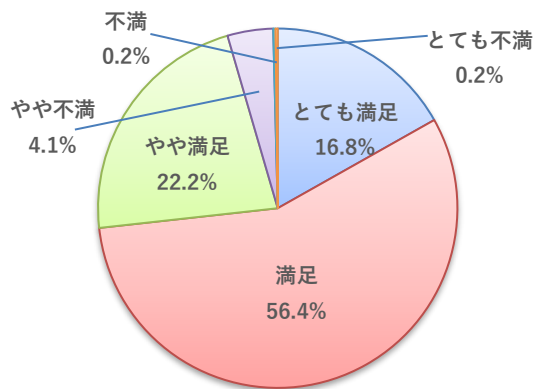
- 当組合は、お客さまが、生活していくうえで発生し得る様々なリスクに対して、安心して備えられるよう最良の共済仕組み・サービスを提供しております。

なお、当組合は、外貨建て共済等の市場リスクを有する商品の提供はしておりません。

- 令和5年度のJA共済満足度調査※1における総合満足度※2は**95.4%**となっており、高水準を維持しております。



総合満足度(令和5年度調査結果) ※2



とても満足 + 満足 + やや満足 = 95.4%

95.4%のご利用者様から「とても満足」「満足」「やや満足」の評価を頂いております。

一方、「やや不満」4.1%、「不満」0.2%、「とても不満」0.2%のご回答もいただいております。ご利用者様の声を真摯に受け止め、サービス改善の取組を徹底してまいります。

※1 JA共済の仕組み・サービスをご利用いただいているお客さまを対象としたアンケート調査

※2 「とても満足」「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」「とても不満」の6段階での評価とし、「とても満足」「満足」「やや満足」の合計割合を総合満足度としております。

I.取組状況

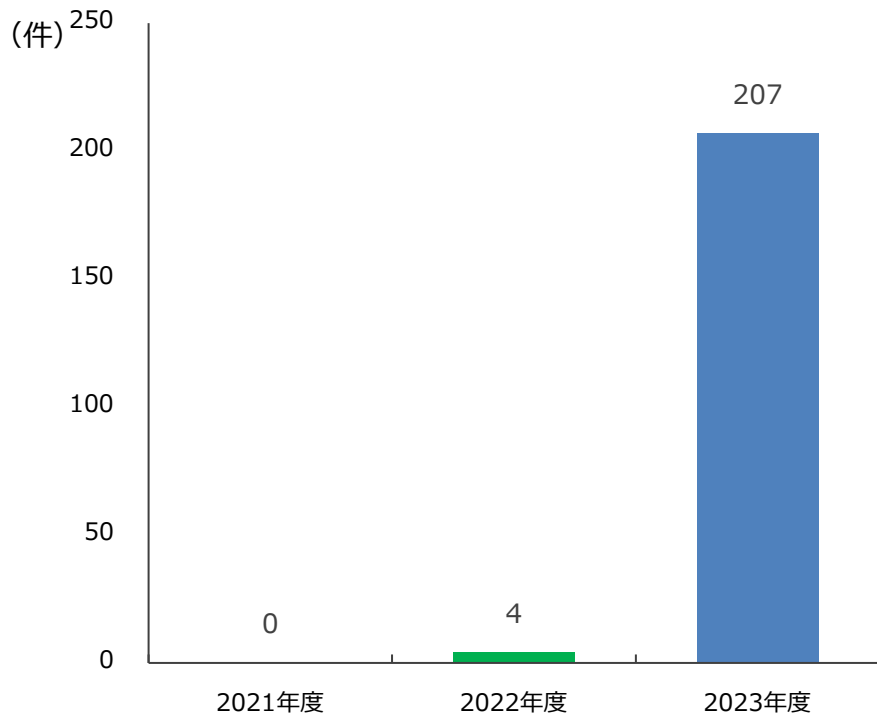
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

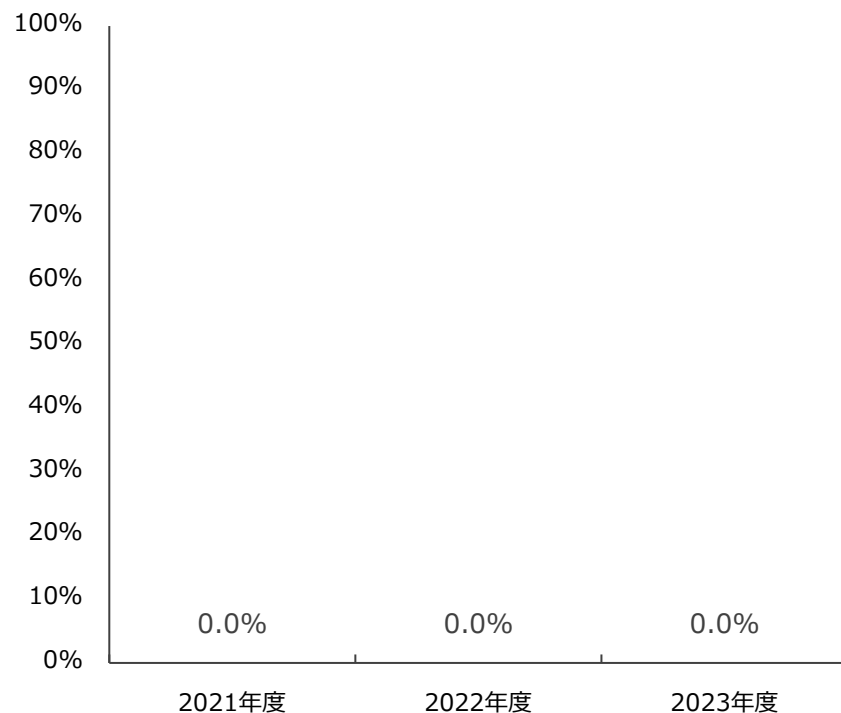
(1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加しました。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



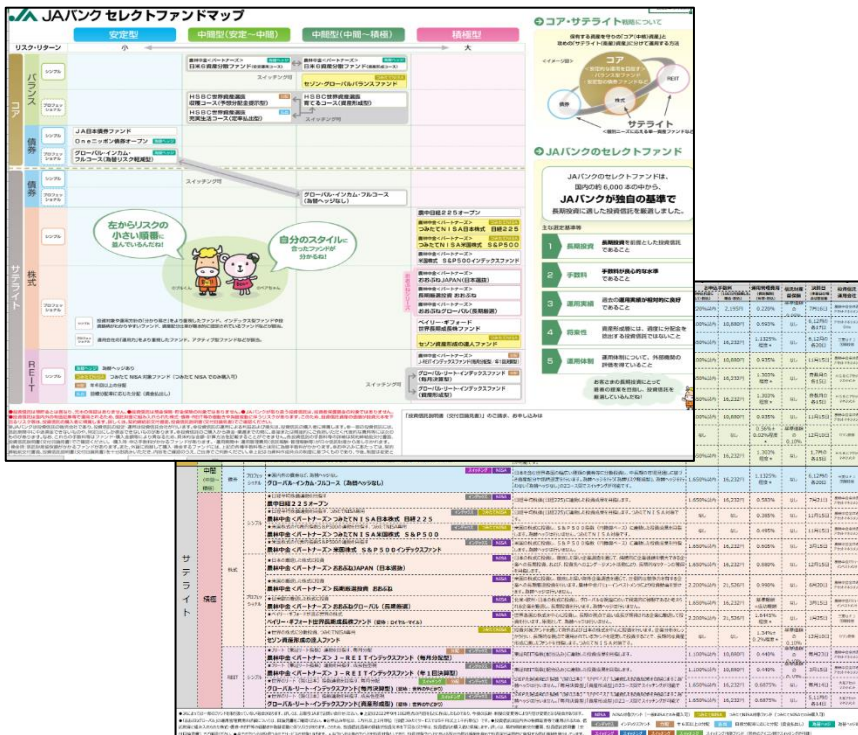
I. 取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

（1）信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。



一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」
(金融事業者編)

1. 当該商品の基本情報 (当該組合はお客様に金融商品の販売【又は販売仲介】をする数です)

商品名	● 商品名詳細	
募集期間	xxxx (第 3 A で記入)	
加入条件	お申込み	
当該商品の募集要約書URL	xxxx (第 3 A で記入)	

2. 取引商品 (当該組合はお客様に提供される金融商品の種類は次のとおりです)

形式 (投資性金融商品)	○	形式 (投資性金融商品)	-
法人形態	-	法人形態	-
募集方法	○	募集方法	-
特約な証券 (行前証券)	-	特約な証券 (行前証券)	○
商品タイプ	-	商品タイプ	-
特約 (投資性金融商品)	-	特約 (投資性金融商品)	-
特約以外の商品	-	特約以外の商品	-

3. 商品ラインナップの考え方 (商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです)

4. 苦情・相談窓口

当該組合の苦情相談窓口	xxxxxx-xxxx
加入協会へ苦情を相談窓口	お申込み
当該組合の苦情相談窓口の有無	0570-016111 (03-5251-6111)

〈セレクトファンドマップ〉

〈重要情報シート〉

I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③ 【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

(2) 共済の事業活動

- a. お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客様にふさわしい商品をご提案しております。
- b. お客様の判断に資するよう、商品のリスク特性等の重要な事項について分かりやすくご説明し、注意喚起情報や必要な情報を十分に提供しました。
- c. 共済掛金の他にお客様にご負担いただく手数料等はございません。

- d. ご契約期間が長期にわたる共済契約の特性を踏まえ、お客様に寄り添ったお客様サービスの活動を行っております。また、ご契約内容の各種変更手続きやお問い合わせへの回答、共済金・給付金の支払いについて、お客様へ正確かつ迅速な対応に努めております。



3 利益相反の適切な管理

- (1) お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しております。
- (2) お客さまへ金融商品をご提案する際は、利益相反が生じやすい事例について重要情報シートを活用して説明いたしております。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)原則7本文および(注)】

- (1) お客さまのご要望に誠実・迅速に応え、お客さま本位で行動できるよう、本方針の浸透・定着に取組み、業務運営の向上・改善へとつなげてまいります。
- (2) 職員が商品・サービスについて十分な知識を持ち、様々なお客さまに対し、適切な商品・サービスのご提案ができるよう、継続的な体制を整備しております。

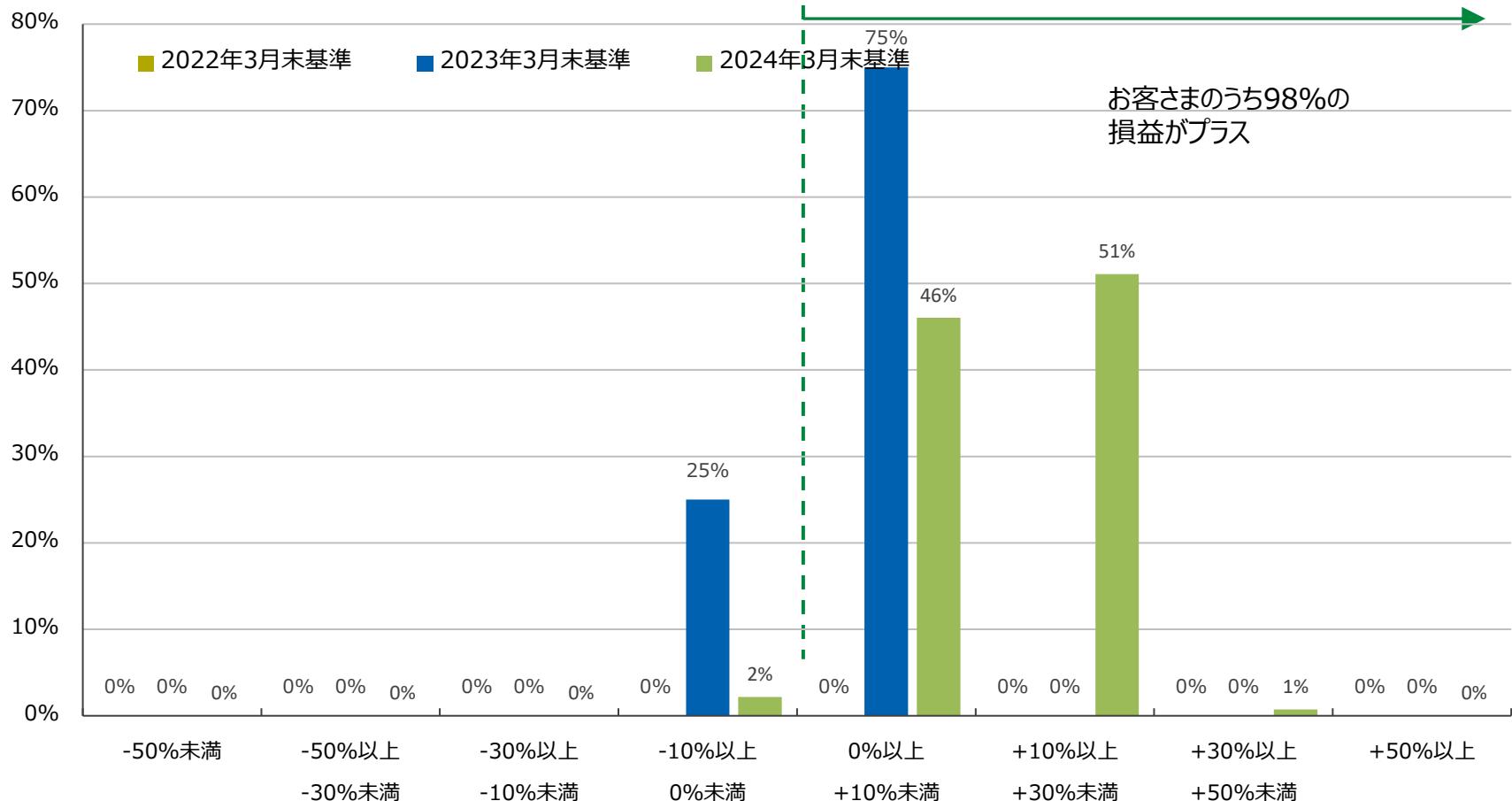
〈人材育成について〉

- ・お客さまの多様な資産運用・保障ニーズに対し的確な商品・サービスを提案し、堅実な事務を行うため、専門的な知識・資格を有した職員の育成を定期的に行っております。
- ・専門性の向上のため、外務員・内部管理責任者・営業責任者・FP等を対象としたeラーニング受講や各種研修など、自己啓発環境の提供を行っております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の98%のお客さまの損益がプラスとなりました。

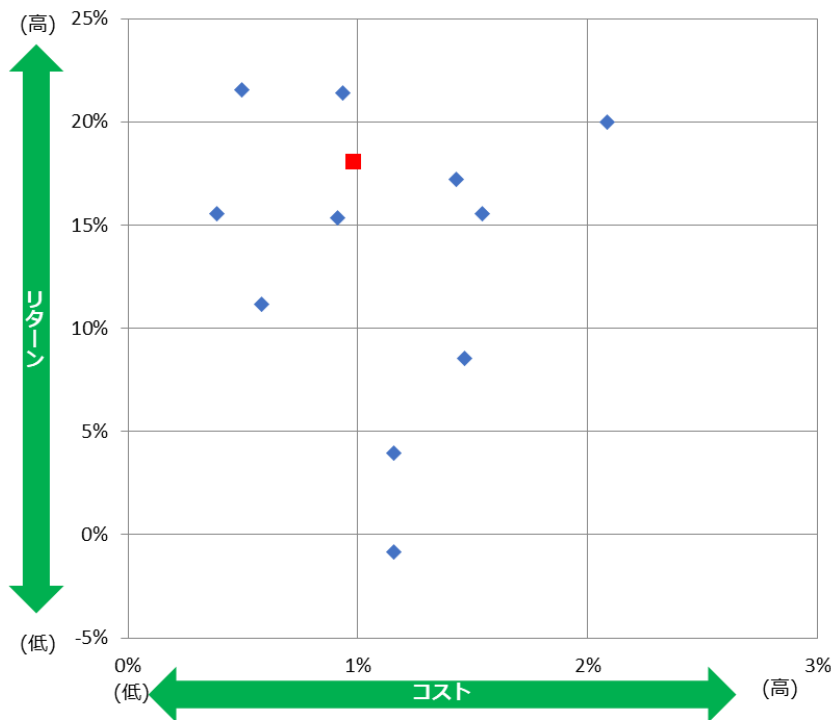


Ⅱ.比較可能な共通K P I

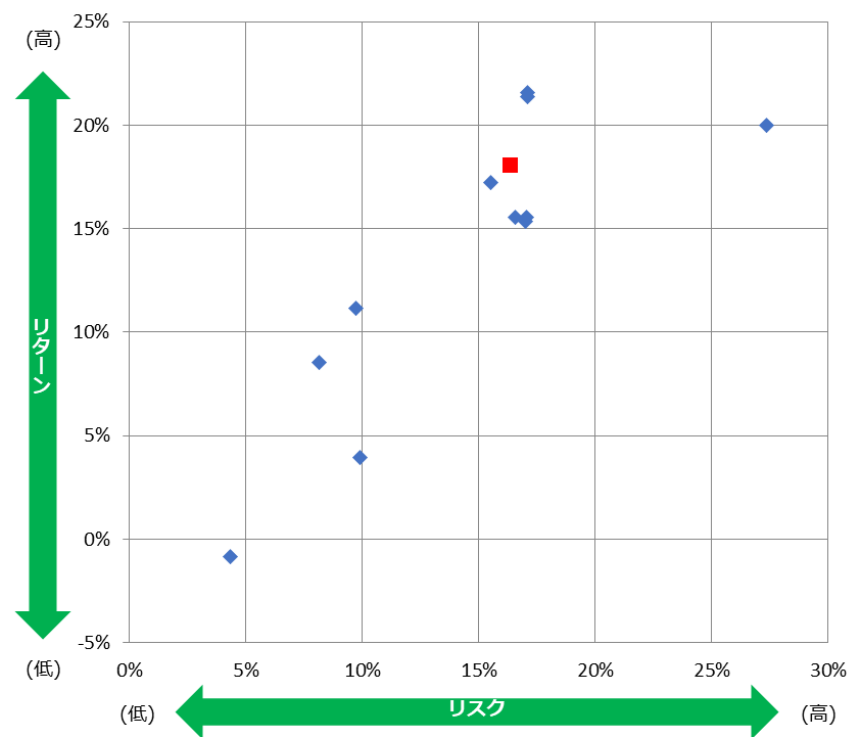
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.98%、平均リスク16.34%に対して、平均リターンは18.09%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



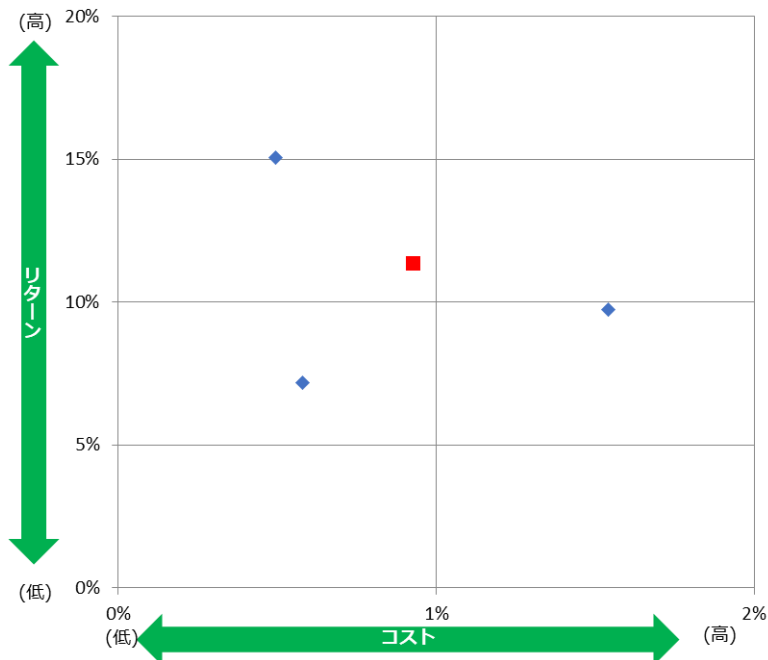
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

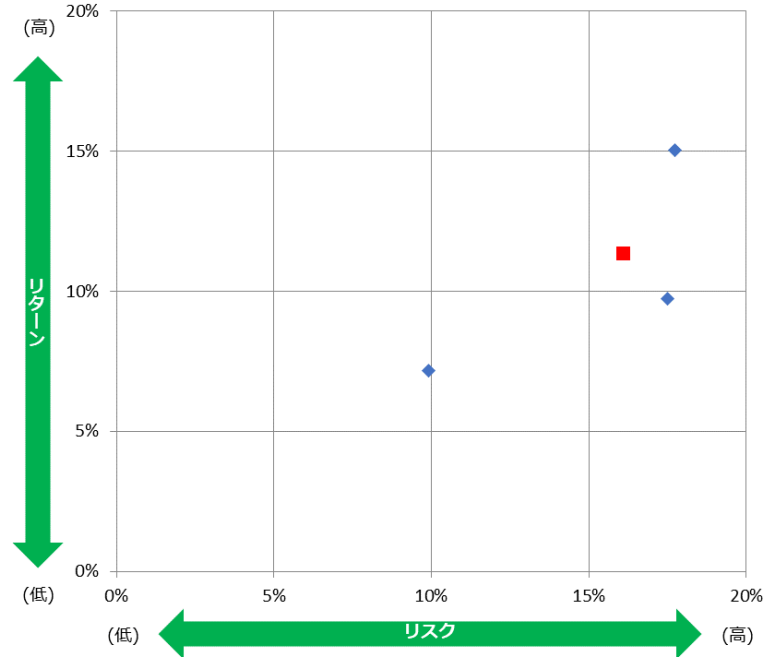
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.93%、平均リスク16.09%に対して、平均リターンは11.37%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.34%	17.00%	0.91%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	17.22%	15.52%	1.43%
4	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.95%	9.89%	1.16%
5	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.55%	17.11%	0.50%
6	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント (株)	19.98%	27.37%	2.08%
7	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.57%	17.06%	0.39%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	15.53%	16.54%	1.54%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	11.15%	9.72%	0.58%
10	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.86%	4.33%	1.16%
11	グローバル・インカムフルコース (為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント (株)	8.56%	8.16%	1.46%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		18.09%	16.34%	0.98%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
2	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		11.37%	16.09%	0.93%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。